

令和 5 年 4 月 5 日
青森県県土整備部道路課

下北半島縦貫道路「13.8km」の 令和7年度供用を宣言します

下北半島縦貫道路の供用中の横浜吹越^{ふっこし}インターチェンジから、「道の駅よこはま」に直結する（仮称）横浜インターチェンジまでの8.5km、並びに「むつ南バイパス」の未供用区間5.3km、合わせて13.8kmが、『令和7年度』に供用する見通しであることをお知らせします。

これらの区間の供用により、下北半島縦貫道路の整備率は41.3%から61.2%へと飛躍的に向上します。

供用予定	事業主体	事業名	区間	延長
令和7年度	青森県	下北半島縦貫道路 「横浜南バイパス」 「横浜北バイパス」の一部	横浜吹越 IC ～ (仮)横浜 IC	8.5km
		下北半島縦貫道路 「むつ南バイパス」	(仮)むつ奥内 IC ～ むつ東通 IC	5.3km

○これらの区間の供用により期待される効果

効果1：防災機能の強化

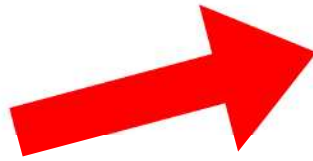
効果2：交通混雑の緩和

報道機関用提供資料	
担当課	県土整備部 道路課
担当者	整備推進グループ GM 相馬 良璽
電話番号	ダイヤルイン 017-734-9651 内線 6712
報道監	県土整備部理事 古市 秀徳



整備率が飛躍的に向上!

41.3%
(現在)



61.2%
(令和7年度)

宣言!
5.3km

むつ東通I. C
(仮)むつ奥内I. C

道の駅「よこはま」

宣言!
8.5km

(仮)横浜I. C
横浜吹越I. C

< 凡例 >

当該区間



事業中



供用中



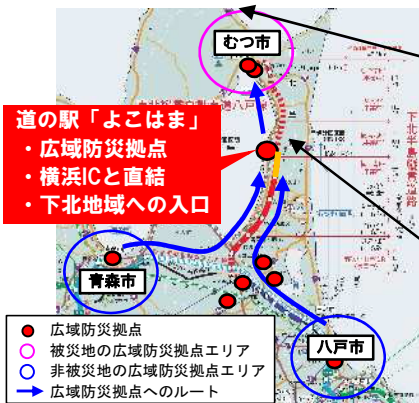
縦貫自動車道八戸線
みちのく有料道路
東北新幹線
天間林道路

小川原湖
三沢空港

下北地域の発展を支援！

◆防災機能の強化 (横浜南バイパス)

- ◆広域防災拠点「道の駅よこはま」の機能を最大限発揮
- ◆道路の防災機能、災害時の広域支援体制を強化



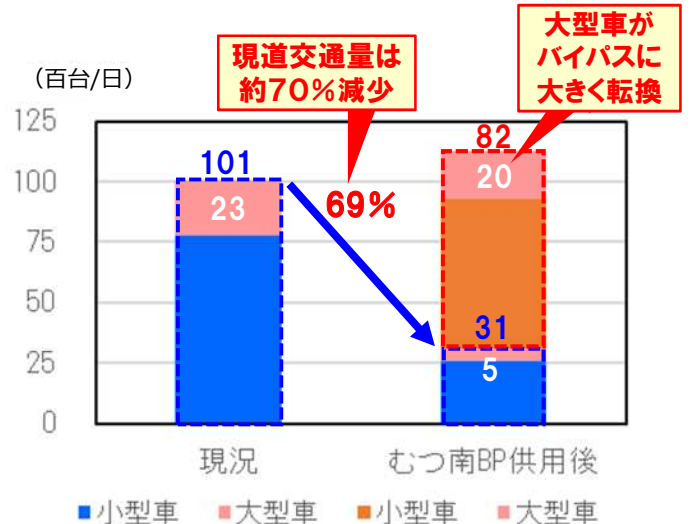
▲R3.8豪雨による国道寸断



▲H24.2豪雪による立往生

◆交通混雑の緩和 (むつ南バイパス)

- ◆特に大型車がバイパスへ大きく転換
- ◆市街地の交通混雑緩和や交通事故減少に貢献



※出典：H42将来交通量推計結果

※現道交通量：並行区間の加重平均から算出

▲むつ南バイパス供用後の交通量推計



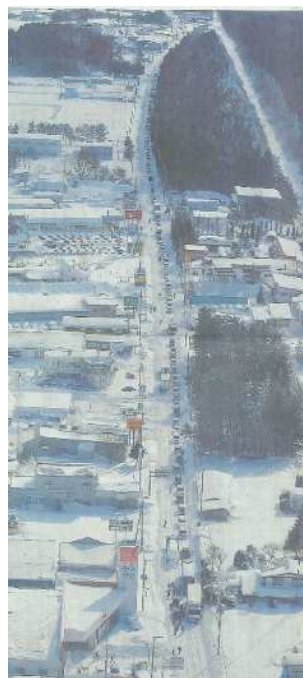
▲むつ市街地の混雑状況



▲大型車の通行状況



▲デーリー東北H24.2.3



▲豪雪による国道の渋滞



▲広域防災拠点「道の駅よこはま」